

にじいろ



2019年7月17日（水） No. 9

1学期も残りあと2日です。今日、夏休みの過ごし方の注意と計画表を配りました。計画をしっかりと立て、夏休みに生活リズムを崩すことなく過ごすように心がけましょう。

道徳「平和について考える」

先週、道徳の時間に、「花火に込めた平和への願い」を読み、平和な社会を築くためにできることは何か、一人ひとりが考える時間を持ちました。毎年、終戦の日が近づいてくると、テレビなどでも特集が組まれるので、普段意識していなくても、平和について改めて考えさせられることが多くなります。みなさんも、昔多くの命が犠牲になったことを思い出し、少しでも平和について考える時間をもってみてはどうでしょうか。その少しの行動が平和な社会を築いていくのでは・・・と信じています。みんなの感想の一部を紹介したいと思います。



<平和のために私たちにできること>

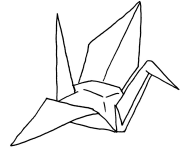


・国という大規模な良好関係だけでなく、友達や身近な人から仲良くすることがだんだん広がっていったらよいと思います。まずは、自分がいろんな人と仲良くしていきたいなと思いました。人を大切にして、相手の気持ちを考えて行動することも平和につながっていくと思いました。

・戦争のことに目を背けるのではなくて、日本で起こった戦争のことを調べて、まだ戦争をよくわかっていない知らない人や年下の子たちに、今この平和は大切に、平和を保てるように話をしていく。そして、できることなら平和のために署名をしたり、戦争で服や食べ物をもっていない人たちのために、服を送ったり、募金をできればいいなと思う。

・長岡花火のように、平和への願いがこめられている行事などをもっとよく知ること、戦争のことなどもよく知って、そして知ったことをもっとたくさんの人に教えてあげたりすること、そうしていつて何十年後も戦争のことを

忘れないでいること。



- 普段よく使う言葉を気にして、相手に嫌な思いをさせてないような言葉使いを大切にする。今からでも戦争のことについて学び知る。何をするのでも、相手を傷つけないようにし、自分と共に相手のことも考える。人に暴力、暴言をふるわない。学校である「ユニセフ募金」や「緑の羽根募金」などに寄付する。道徳などで学ぶ「平和」についてだったり、「仲間」のことをしっかり心に刻んで、その後の生活で大切にする。友達が人を傷つけていたりしたら、自分も一緒に傷つけるのではなく、勇気を出して止める。何かしてもらったり感謝しているときは「ありがとう」、何かしてしまって反省していたら「ごめんなさい」を言えるようにし、チクチク言葉を言わない。



- もう二度と戦争が起こらないように、戦争がどれだけ悲惨だったかを知る。そしてそれを忘れない。平和について一人ひとりが考える。人が傷つくようなことをしない。けんかしない。悪いことをしたと思ったらすぐ謝る。戦争について一人ひとりが考える。友達が困っていたら、寄り添って聞いてあげる。友達が泣いていたら「どうしたん？」って言って聞いてあげる。一人ひとりが未来について考える。

- 自分が本当はそんなことを思っていないなくても、「あの人が言っていたから」などと、一つの言葉からいいことにも悪いことにもつながってしまうのだと思います。戦争も同じで、自分はやりたくないと思っていなくても、誰かに従わなければならないのだと思います。なので、今のような平和な日常を送るためには、自分の意見をしっかりともち、「あの人が言っていたから」ではなく、「自分はこんなふうに思う」などと、自分の意見をみんなに言うことが大切で、今、自分たちにできることだと思います。

- たくさんの人と交流し、そのためにオリンピックのような国際行事を増やしていけたらいいなと思いました。自分と意見が違っててもめそうになっても、人はみんな違うということを考え、話し合いなど、争いにならないようにしようと思いました。過去は変えられないので、新しい良い未来に向かっていこうというガイドさんの考えをまねて、ポジティブに生きていこうと思いました。世界中の国との距離が縮まり、他国の人とも楽しく過ごせたらいいなと思いました。



